



図 2-3. 消化管内容物。2. ダミ類の触肢と思われる部位; 3. ダミ類の爪と思われる部位。

引用文献

- 東 清二 (監修), 2002. 琉球列島産昆虫目録 増補改訂版. xxiv+570 pp., 沖縄生物学会, 西原町.
 Mayor, A. J., 2002. 74. Melyridae Leach 1815, Pp. 281–304. In Arnett, R. H., Jr., M. C. Thomas, P. E. Skelley, & J. H. Frank (eds.). American Beetles, 2. 861 pp. CRC Press, Florida.
 吉富博之・林 尚希, 2011. 日本産ジョウカイモドキ科とその近縁科のリスト. さやばね ニューシリーズ, (2): 18–24.

- (瀬戸山知佳 234–0034 厚木市船子 1737
 東京農業大学昆虫学研究室)
 (小島弘昭 234–0034 厚木市船子 1737
 東京農業大学昆虫学研究室)
 (浅野 真 422–8045 静岡市駿河区西島 164–1)

【短報】山形県および静岡県におけるカノコヒラタケシキスイの記録

カノコヒラタケシキスイ *Epuraea* (*Dadopora*) *vicaria* Kirejtshuk & Kvamme, 2001 は極東ロシア (サハリン) から記載されたケシキスイ科の一種である。日本では当初ヨーロッパやアフリカ北部などに広く分布する *E. (D.) fuscicollis* (Stephens, 1835) として北海道から記録されたが (Kashizaki & S.-T. Hisamatsu, 2011), 2016 年に *E. (D.) vicaria* に訂正されたこと

で国内から初記録された (S.-T. Hisamatsu, 2016)。これに伴い, *E. (D.) fuscicollis* は日本のケシキスイ相から除外された。なお, 沼田 (2012) は秋田県から *E. (D.) fuscicollis* を報告しているが, これも同様に *E. (D.) vicaria* であると考えられる。

筆者の伊藤は 2018 年 7 月および 2020 年 5 月に山形県内にてケシキスイ相の調査を実施し, 捕獲されたケシキスイを検視していたところ本種を確認した。また, 第二筆者の宮尾は, 2019 年 7 月～8 月に静岡県富士市にて果実トラップを用いて甲虫相調査を実施した結果, 本種を得たため, 両県産個体を以下に報告する。なお, 本報告で用いた標本は全て筆者の伊藤が保管している。



Fig. 1. Dorsal habitus of *Epuraea* (*Dadopora*) *vicaria* (♂, Yamagata-ken). Scale bar: 1.0 mm.

山形県: 1 ♂ (Fig. 1), 山形市山寺 (標高 600 m 付近), 13–16. VII. 2018, 伊藤採集 (パイナップルトラップ); 4 ♂♂, 天童市田麦野 (標高 500 m 付近), 2–3. V. 2020, 伊藤採集 (バナナトラップ); 2 ♂♂, 同地, 4–5. V. 2020, 伊藤採集 (バナナトラップ); 2 ♂♂, 同地, 6–8. V. 2020, 伊藤採集 (バナナトラップ); 1 ♂ 2 ♀♀, 同地, 8–9. V. 2020, 伊藤採集 (バナナトラップ); 3 ♂♂ 2 ♀♀, 同地, 9–11. V. 2020, 伊藤採集 (バナナトラップ). 静岡県: 1 ♂, 富士市大淵浅黄塚付近 (標高 1,400 m 付近), 24–26. VII. 2019, 宮尾採集 (バナナトラップ); 1 ♀, 同地, 26–28. VII. 2019, 宮尾採集 (バナナトラップ); 9 ♂♂, 同地, 28. VII–2. VIII. 2019, 宮尾採集 (バナナトラップ); 1 ♂, 同地, 15–18. VIII. 2019, 宮尾採集 (バナナトラップ)。

本種の生態については *Dadopora* 亜属の他種に類似すると推測され (S.-T. Hisamatsu, 2016), ヨーロッパに分布する近縁種の *E. (D.) guttata* はバラ科やセリ科の花上, または発酵果実に集まるとされる。北海道や秋田県ではバナナトラップやミズナラの樹液で採集されており, 本報告の個体も同様に, 全て果実トラップ (パイナップルまたはバナナ) によって採集された。本種は, 北海道では低地で記録されているが, 今回山形県では標高 500 ~ 600 m 付近, 静岡県では標高 1,400 m 付近で得られ, 中標高帯にまで分布していることが明らかとなった。本稿により, 本種の分布は南限を大きく更新することとなったが,

今後他地域においても中～高標高帯を調査することで本種の追加記録が得られる可能性もある。

末筆ながら、本種の文献記録についてご教示いただいた柏崎昭氏（札幌市）、山形県での調査にご協力いただいた山下未玖氏（仙台市）ならびに本原稿を校閲して下さった久松定智博士（人間環境大学）にこの場を借りて御礼申し上げる。

引用文献

- Hisamatsu, S.-T., 2016. A revision of Japanese Epuraeinae (Coleoptera, Nitidulidae). Part I. *Epuraea* subgenera: *Dadopora* Thomson, *Epuraea* Erichson, and *Epuraeanella* Crotch. *Zootaxa*, 4080 (1): 1–100.
- Kashizaki, A. & S.-T. Hisamatsu, 2011. New distribution records of two sap beetle (Coleoptera, Nitidulidae) from Hokkaido, Japan. *Elytra* N. S., 1 (1): 163–165.
- 沼田 仁, 2012. カノコヒラタケシキスイを秋田県で採集. SAYABANE N. S., (8): 29.

（伊藤直哉 994-0016 天童市東久野本）
（宮尾真矢 412-0026 御殿場市東田中）

【短報】千葉県におけるニセコウベツブゲンゴロウの初記録および卵に関する知見

ニセコウベツブゲンゴロウ *Laccophilus yoshitomi* Watanabe et Kamite, 2018 (以下、ニセコウベと略記) は、2018 年に記載された小型種で、本州・四国・九州から記録されている (Watanabe & Kamite, 2018; 渡部ら, 2019; 中島ら, 2020)。筆者らは千葉県初記録となるニセコウベを採集した。加えて、自然環境下における卵に関する知見も得られたので、併せて報告する。

16 exs., 千葉県夷隅郡大多喜町会所, 29. III. 2020, 山崎・依田・内山採集, 保管 (一部標本は渡部保管)。



図 1. 千葉県産ニセコウベツブゲンゴロウ雄。

本種は林に囲まれた湧水湿地から得られ、同所的にクロズマメゲンゴロウ *Agabus conspicuus* Sharp, 1873, オオコオイムシ *Appasus major* (Esaki, 1934) などが生息していた。

筆者の一人山崎が 2020 年 5 月 7 日に同所でイボクサを採集し、水を入れた容器で保管したところ、5

月 11 日に幼虫が 4 頭孵化した。孵化した幼虫を飼育し、うち 2 頭が 5 月 30 日に羽化した。羽化した新成虫を同定し、この卵がニセコウベのものであることを特定した。岩田ら (2019) は、埼玉県における新成虫の発生時期が 8～9 月頃 (夏期) であることを示唆している。今回の観察事例から、ニセコウベの産卵時期には少なくとも 5 月が含まれること、産卵基質としてイボクサを利用することが判明した。

ニセコウベは同属のコウベツブゲンゴロウ *L. kobensis* Sharp, 1873 (以下、コウベと略記) と形態が似ていることから、過去のコウベの記録はニセコウベと混同されてきた。例えば、香川県と埼玉県では過去に記録されたコウベの標本を再検討した結果、過去の記録は全てニセコウベであり、コウベは未記録であることが判明した (渡部ら, 2019; 岩田ら, 2019)。千葉県においては、コウベが重要保護生物 (環境省版レッドリスト基準の絶滅危惧 IB 類相当) に選定されている (千葉県環境生活部自然保護課, 2019)。同県でニセコウベが確認されたことから、過去のコウベの記録については標本に基づく再検討が望まれる。

引用文献

- 千葉県環境生活部自然保護課, 2019. 千葉県の保護上重要な野生動物. 千葉県レッドリスト 動物編 2019 年改訂版. <http://www.bdcchiba.jp/endangered/2019/redlist2019.pdf> (2020 年 5 月 24 日参照)。
- 岩田泰幸・新井浩二・岩田朋文・渡部晃平, 2019. 埼玉県におけるニセコウベツブゲンゴロウの新記録とコウベツブゲンゴロウの既知の記録の削除. さやばねニューシリーズ, (35): 46–47.
- 中島 淳・林 成多・石田和男・北野 忠・吉富博之, 2020. 日本の水生昆虫. 351 pp. 文一総合出版, 東京。
- 渡部晃平・藤本博文・出嶋利明・北川雄士, 2019. 四国におけるニセコウベツブゲンゴロウの初記録. さやばねニューシリーズ, (34): 64.
- Watanabe, K. & Y. Kamite, 2018. A new species of the genus *Laccophilus* (Coleoptera, Dytiscidae) from Japan. *Elytra*, Tokyo, (n. ser.), 8: 417–427.

- （山崎 駿 263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33
千葉大学理学部化学科）
（渡部晃平 920-2113 白山市八幡町戊 3 番地
石川県ふれあい昆虫館）
（依田剛明 305-8577 つくば市天王台 1-1-1
筑波大学生命環境学群生物学類）
（内山龍人 305-8577 つくば市天王台 1-1-1
筑波大学生命環境学群生物学類）